

令和 2 年度決算に係る

定期監査資料

令和 3 年 7 月

農林水産部畜産振興局畜産課

## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
(1)	指摘事項	
(2)	監査意見	
(3)	決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	
3	職員の定員、現員調べ	
4	役付職員の調べ	2頁
5	主な事業に関する調べ	3頁
6	決算資料（総括表）	6頁
7	事業別実施状況調べ	8頁
8	予備費の充用調べ	20頁
9	繰越関係調べ	
(1)	継続費逐次繰越調べ	
(2)	繰越明許費調べ	
(3)	事故繰越調べ	
10	収入証紙取扱調べ	21頁
11	現金の取扱状況	
(1)	現金取扱状況	
(2)	つり銭の状況	
12	財産に関する調べ	22頁
(1)	公有財産	
(2)	金券類の保有状況	
(3)	基金	
(4)	債権	
13	財産の貸付け及び使用許可調べ	27頁
(1)	土地及び建物	
(2)	物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
14	借受不動産明細調べ	29頁
15	職員駐車場の管理状況調べ	
(1)	管理状況	
(2)	減免の考え方	
(3)	使用料の見直し	
16	寄附物件の受納状況調べ	
17	備品の処分状況調べ	
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
(1)	亡失、損傷の報告状況	
(2)	物品確認の実施状況	
19	貸付金等状況調べ	
(1)	総括表	
(2)	償還状況	
○	意見、要望等	30頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
鳥取県有和牛種雄牛精液の適正流通に関する検討会（第3回）外3件に係る経費について、支出負担行為の事務手続きが遅延していたので、今後このようなことのないよう適正な事務処理を行われたい。	事業担当者は会議前は資料作成や関係機関・団体等との調整等で忙殺され、報償費や特別旅費の処理を遅延することがあった。 以後は遅延することのないよう、報償費、旅費等の処理は担当者以外の職員が行うこととし、会議より前に起案することを徹底することとした。

(2) 監査意見

監 査 意 見	処 理 状 況 等
(監査意見なし)	

(3) 決算審査意見

決 算 審 査 意 見	処 理 状 況 等
(決算審査意見なし)	

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
(指摘事項なし)	

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合 計		備 考
	3.4.1 現 在	2.4.1 現 在	3.4.1 現 在	2.4.1 現 在	3.4.1 現 在	2.4.1 現 在	3.4.1 現 在	2.4.1 現 在	
定 員	3	3	12	12	0	0	15	15	
現 員	(0) 3	(0) 3	(0) 12	(0) 12	(0) 0	(0) 0	(0) 15	(0) 15	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨 時 的 任 用 職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会 計 年 度 任 用 職 員	1	1	0	0	0	0	1	1	事務補助

役付職員の調べ

(令和3年7月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
課 長	田中 成彦	2	3	
家畜衛生・防疫対策室長	寺坂 陽一郎	1	3	
課長補佐	鳥飼 敏博	1	3	
課長補佐	野儀 卓哉	1	3	
課長補佐	井上 真寛	0	3	
課長補佐	谷口 真澄	0	3	4年3月
課長補佐	小江 敏明	2	3	

--	--

--	--

職 名	19年		20年		21年		22年		備 考
	10月	31日	10月	31日	10月	31日	10月	31日	
	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
和牛増頭対策事業	149,449	103		147,183 鳥取和牛振興 戦略基金	2,163
将来ビジョン	1 (4) 農林水産物のブランド確立と多様な担い手が活躍				
令和新時代創生戦略	1 (2) ①農林水産業の活力増進				
政策項目	2 (1) 農業生産9百億円・製造品出荷9千億円に挑戦				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
<p>将来の和牛生産を担う中核的な農家や新規参入者による和牛の生産拡大及び鳥取和牛オレイン55や高品質和牛肉の増産を図るため、和牛繁殖雌牛や肥育素牛の導入・保留、「鳥取和牛」の増産に係る経費に対して助成する。</p>					
(イ) 事業の実施状況					
事業内容	実績額(千円)		事業実績	実施主体	
	事業費	うち県費			
担い手増頭	335,949	115,638	導入：415頭(15市町村)	JA	
子牛導入支援(繁殖・肥育)	16,585	13,099	導入：繁殖23頭、肥育156頭	JA	
緊急増頭(肥育)	37,444	18,446	導入：312頭	JA	
受精卵移植対策事業	3,440	2,060	移植回数：172回	JA、大乳	
和牛ステップアップ協議会	206	206	2回	県	
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<p>子牛導入支援(肥育素牛)において、県有種雄牛(白鵬85の3、百合白清2)の雌の産子の価格が高く、事業推進の妨げとなるため、雌牛の場合のみ事業対象牛を白鵬85の3を除く直近の鳥取県和子牛セリ平均価格以上に見直した。</p>					
ウ 成果及び効果					
<p>県内の繁殖雌牛頭数は令和2年実績で4,542頭(3年前H29当時3,380頭)であり、本事業により順調に増頭が進んでいる状況である。</p> <p>また本事業による能力の高い優秀な雌牛の導入及び保留の推進効果もあり、本県の令和2年の和子牛セリ価格は全国1位となった。</p>					
エ 課題					
<p>県内の肥育牛飼養頭数は令和2年実績で6,400頭(3年前H29当時5,870頭)であり、徐々に増頭傾向にあるが、繁殖雌牛頭数ほどの増頭に繋がっていない。原因としては和子牛価格の高騰に伴う肥育素牛の導入難及び、一貫農家が肥育頭数より子牛出荷頭数を増やす傾向(子牛で出荷した方が利益が良いと判断)にあることなどが考えられる。</p>					

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
第12回全共出品対策事業	2,723			2,723 鳥取和牛振興 戦略基金	
将来ビジョン	1(4) 農林水産物のブランド確立と多様な担い手が活躍				
令和新時代創生戦略	1(2) ①農林水産業の活力増進				
政策項目	2(1) 農業生産9百億円・製造品出荷9千億円に挑戦				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会(令和4年10月開催。以下、「全共」という。)で上位入賞し、「鳥取和牛」の知名度向上を図る。

(イ) 事業の実施状況(事業実施主体：第12回全国和牛能力共進会鳥取県推進委員会)

事業内容			実績額(円)	
			事業費	うち県費 1/2
1	出品 対策 事業	魅せる出品技術習得事業	898,231	1,115,123
2		地域協議会活動費等	582,015	
3		指定交配費	750,000	
4		事務局経費	245,177	122,588
5		種牛で勝つゲノム育種 価算出事業(県10/10)	1,485,000	1,485,000
合計			3,960,423	2,722,711

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

魅せる出品技術習得事業では、新型コロナウイルス感染防止対策のため県外講師の招聘を見送ったが、3頭の調教練習用の牛を用い、畜産試験場で集中的な技術研修を2期間行うなど、県内での取組みを充実させた。

ウ 成果及び効果

種牛区は指定交配による52頭の受胎を確認しており、肉牛区では令和2年11月の臨時セリでの対応も含め、出品候補者に63頭の出品候補牛が行き渡るなど、順調に取組を進められた。

エ 課題

令和3年度から各農家への出品候補牛の巡回調査や集合調査が本格的に始まることから、新型コロナウイルス感染防止に十分配慮しながら調査、指導を進めなければならない。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳												
		国庫支出金	起債	その他	一般財源									
特定家畜伝染病危機管理対策事業	43,528	16,050			27,478									
将来ビジョン	—													
令和新時代創生戦略	—													
政策項目	—													
(概要)														
ア. 目的及び事業の実施状況														
(ア) 目的														
<p>数年おきに国内発生を繰り返す高病原性鳥インフルエンザや、岐阜県で発生し感染拡大しつつある豚熱等の特定家畜伝染病の県内発生を防止する。また、万が一の県内発生に備え、迅速な処分作業や更なる感染拡大を防ぐための体制強化や物資の確保を進める。</p>														
(イ) 事業の実施状況														
<ul style="list-style-type: none"> <li>農場の飼養衛生管理基準の遵守指導           <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年7月の家畜伝染病予防法の改正に伴い、家畜飼養衛生管理基準の遵守事項が大幅に強化されたことから、生産者へ周知するとともに家畜保健衛生所による巡回指導を実施した。</li> </ul> </li> <li>令和2年度防疫演習等の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>県内家畜伝染病の発生に備え、以下のとおり各地区で防疫演習や家畜防疫員の訓練を実施した。</li> </ul> </li> </ul>														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>実施状況</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各地区防疫演習</td> <td>本庁、各地区1回</td> <td>鳥インフル机上、防疫服脱着・消毒ポイント演習等</td> </tr> <tr> <td>家畜防疫員訓練</td> <td></td> <td>防疫業務リーダー研修 豚熱ワクチン研修 全国一斉机上演習(47都道府県一斉点検)</td> </tr> </tbody> </table>						事業	実施状況	概要	各地区防疫演習	本庁、各地区1回	鳥インフル机上、防疫服脱着・消毒ポイント演習等	家畜防疫員訓練		防疫業務リーダー研修 豚熱ワクチン研修 全国一斉机上演習(47都道府県一斉点検)
事業	実施状況	概要												
各地区防疫演習	本庁、各地区1回	鳥インフル机上、防疫服脱着・消毒ポイント演習等												
家畜防疫員訓練		防疫業務リーダー研修 豚熱ワクチン研修 全国一斉机上演習(47都道府県一斉点検)												
<ul style="list-style-type: none"> <li>養豚場、養鶏場における野生動物侵入防止対策           <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>庁内連絡会議の開催</td> <td>計40回(鳥インフル33回、豚熱7回)</td> </tr> <tr> <td>消石灰の配布と散布を指示</td> <td>全養鶏場3回(11月、12月、2月)計1万袋 養豚場3回(11月、2月、3月)計3千袋</td> </tr> <tr> <td>侵入防止柵等の整備</td> <td>いのしし等侵入防止柵の設置(養豚場4農場)、防鳥ネットの設置(養豚場1農場、養鶏場7農場)</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul>						事業	概要	庁内連絡会議の開催	計40回(鳥インフル33回、豚熱7回)	消石灰の配布と散布を指示	全養鶏場3回(11月、12月、2月)計1万袋 養豚場3回(11月、2月、3月)計3千袋	侵入防止柵等の整備	いのしし等侵入防止柵の設置(養豚場4農場)、防鳥ネットの設置(養豚場1農場、養鶏場7農場)	
事業	概要													
庁内連絡会議の開催	計40回(鳥インフル33回、豚熱7回)													
消石灰の配布と散布を指示	全養鶏場3回(11月、12月、2月)計1万袋 養豚場3回(11月、2月、3月)計3千袋													
侵入防止柵等の整備	いのしし等侵入防止柵の設置(養豚場4農場)、防鳥ネットの設置(養豚場1農場、養鶏場7農場)													
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点														
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年4月からCSF・ASF検査施設(琴浦町松谷)を開設。検査機器の整備(PCR等)や、獣医師1名、採材補助員1名を配置し野生動物の検査体制を強化した。</li> <li>畜産課内に衛生防疫対策担当参事を配置し、各家畜保健衛生所の防疫担当補佐を2名とするなど家畜防疫体制の強化を図った。</li> </ul>														
ウ 成果及び効果														
<ul style="list-style-type: none"> <li>養豚場の野生いのしし侵入防護柵、養鶏場防鳥ネットの全戸設置が完了し、野生動物からのウイルス侵入を防止したため、本県では家きんの高病原性鳥インフルエンザや豚熱の発生はなかった。</li> <li>CSF・ASF検査施設を整備し、野生いのししのサーベイランス検査体制を強化したことにより、R1年度90頭からR2年度140頭へ検査頭数が増え、侵入ウイルスの監視が強化された。</li> </ul>														
エ 課題														
<ul style="list-style-type: none"> <li>豚熱ワクチン接種は、法で県獣医師のみに制限されていたが、国の指針が改正され、民間獣医師による接種も可能となった。県獣医師のワクチン接種は通常業務への大きな圧迫となることから、企業雇用獣医師での接種や民間獣医師の雇用による負担軽減を図ることが必要になる。</li> <li>豚熱は、令和3年3月から兵庫県の野生いのししで感染が継続して確認されており、県内侵入防止のため、県境付近での県内の野生いのししのモニタリング強化と野生いのししへの経口ワクチン散布体制を早急に整備する必要がある。</li> </ul>														



6 決算資料

区分	科目	算現額			計	期定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	備考
		当初予算額	補正予算額	繰越費及び繰越事業費 繰越財源充当額						
	行政財産使用料	243,000	0	0	243,000	322,400	0	0		
	農林水産業手数料	9,421,000	0	0	9,421,000	13,598,670	0	0		
	総務補助金	0	0	0	0	15,000,000	0	0		
	農林水産業補助金	51,522,000	806,705,000	(485,625,150)	(485,625,150)	(371,139,650)	0	0		
	国庫補助金	51,522,000	806,705,000	485,625,150	1,343,852,150	440,798,073	0	0		
	財産貸付収入	6,918,000	0	0	6,918,000	6,858,955	0	0		
	利子及び配当金	30,000	0	0	30,000	8,215	0	0		
	物品売払収入	0	0	0	0	66,787	0	0		
	生産物売払収入	276,700,000	45,469,000	0	322,169,000	318,884,581	0	0		
	家畜類売払収入	41,604,000	0	0	41,604,000	40,072,056	0	0		
	和牛振興戦略基金	329,431,000	△ 46,487,000	(16,000,000)	(16,000,000)	(3,989,700)	0	0		
	繰上り			16,000,000	298,944,000	188,291,596	0	0		
	前年度繰上り	0	0	(33,287,150)	(33,287,150)	(33,287,150)	0	0		
	農畜産業振興機構受託事業収入	3,045,000	0	33,287,150	33,287,150	33,287,150	0	0		
	地方競馬全国協会受託事業収入	105,000	0	0	105,000	105,000	0	0		
	畜産環境整備機構受託事業収入	154,000	0	0	154,000	211,000	0	0		
	近畿大学受託事業収入	1,200,000	0	0	1,200,000	1,200,000	0	0		
	全国和牛登録協会受託事業収入	13,200,000	0	0	13,200,000	7,273,200	0	0		
	農業・食品産業技術総合研究機構受託事業収入	5,100,000	900,000	0	6,000,000	6,000,000	0	0		
	畜産技術協会受託事業収入	1,200,000	400,000	0	1,600,000	1,600,000	0	0		
	家畜改良センター受託事業収入	0	55,000	0	55,000	55,000	0	0		
	雑収入	29,875,000	380,860,000	0	410,735,000	29,649,562	0	0		
	債	20,000,000	△ 6,000,000	(40,000,000)	(40,000,000)	(34,000,000)	0	0		
	債	20,000,000	△ 6,000,000	40,000,000	54,000,000	47,000,000	0	0		
	合計	789,748,000	1,181,902,000	(574,912,300)	(574,912,300)	(442,416,500)	0	0		
				574,912,300	2,546,582,300	1,153,824,245	0	0		

(単位:円)



区分	科目	予算				算			現			額			支出済額の内訳			翌年度繰越額	差引残額(不用額) A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予及及び繰越事業費繰越額	流出及び増減	計 A	支出済額(決算額) B	本庁	出納機関	繰越額	年度繰越額								
歳	畜産総務費	672,351,000	1,475,000	0	657,250	674,483,250	666,475,650	664,094,025	2,381,625	0	8,007,600									
	畜産振興費	634,960,000	1,204,199,000	498,162,000	△5,464,300	(498,162,000)	(357,174,700)	(353,185,000)	(3,989,700)	1,136,023,000	(140,987,300)									
	家畜保健衛生費	114,289,000	45,276,000	76,750,300	14,050,050	(76,750,300)	(70,512,500)	(45,078,000)	(25,434,500)	0	(6,237,800)									
	畜産試験場費	176,974,000	100,000	0	4,625,000	181,699,000	169,574,994	1,540,000	166,034,994	0	12,124,006									
出	中小家畜試験場費	67,856,000	8,887,000	0	132,000	76,875,000	72,897,176	0	72,897,176	0	3,977,824									
	一般管理費	0	0	0	23,000,000	23,000,000	15,385,735	15,385,735	0	0	7,614,265									
	雑費	0	0	0	773,176	773,176	773,176	773,176	0	0	0									
合	計	1,666,430,000	1,259,937,000	(574,912,300)	37,773,176	(574,912,300)	(427,687,200)	(398,263,000)	(29,424,200)	1,136,023,000	(147,225,100)									
				574,912,300		3,539,052,476	2,019,862,841	1,543,360,879	476,501,962		383,166,635									

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A
	当初予算額	補正予算 額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予備費 支出及び 流用増減				
(畜産総務費)								
職員人件費	662,859,000	1,475,000			664,334,000	656,353,043	7,980,957	98.8
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	畜産関係職員（一般職員81人ほか、会計年度任用職員）の人件費 （一般職員の内訳）							
	畜産課 14人		畜産試験場 21人		中小家畜試験場 14人			
	とっとり農業戦略課 1人		農業大学校 1人		鳥取家畜保健衛生所 6人			
	倉吉家畜保健衛生所 14人		西部家畜保健衛生所 10人					
畜産課管理 運営費	9,492,000			657,250	10,149,250	10,122,607	26,643	99.7
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	【流用】畜産振興費 生乳増産対策支援事業から 707,300 家畜保健衛生費 特定家畜伝染病危機管理対策事業へ △50,050							
	1 畜産関係機関の連絡調整費及び庁用事務費として支出した。							
	2 家畜人工授精師・家畜商等の講習会や免許交付事務を行った。							
		区分	講習会	受講者数	免許(再)交付件数			
		家畜人工授 精師関係	家畜人工授精師講習会 期間：R3. 1. 20～R3. 2. 17 会場：畜産試験場	19名	免許交付（24件） 書換（6件） 免許・合格証再交付（8件） 人工授精師所開設（29件）			
		家畜商関係	未実施（隔年実施のため）	—	免許交付（1件）			
	3 家畜生産の状況を早期に調査し、生産出荷調整の基礎資料とするとともに、関係者に情報提供した。							
		肉豚	全農家（28戸：R2年度末）の毎月1日現在の飼養頭数・種付頭数・分娩頭数・子豚生産頭数等を調査					
		ブロイラー	ブロイラー生産・出荷農家の毎月月末時点の出荷羽数、出荷先、ヒナの導入羽数等を調査					
		みつばち	転飼の適正化を図るため、3月に転飼調整会議を開催					
	地どり	鳥取地どり振興のため、生産状況等に係る調査を行った。						
	和牛	（公社）鳥取県畜産推進機構へ出荷頭数調査を委託した。 令和2年出荷頭数：3,210頭、委託費：158,830円						
4 畜産経営に起因する環境汚染の防止を図るため、経営農家に対する実態調査・指導を実施し、畜産環境保全の推進に努めた。								
	農家実態調査		348戸					
	畜産経営に起因する苦情発生件数		14件					
	水質検査（8項目）		14戸					
	臭気検査（2項目）		18戸					
目計	672,351,000	1,475,000		657,250	674,483,250	666,475,650	8,007,600	99.0

(単位：円)

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A
	当初予算額	補正予算 額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予備費 支出及び 流用増減				
(畜産振興費)								
鳥取県和牛 振興戦略基 金	228,940,000	45,469,000			274,409,000	244,093,155	30,315,845	89.0
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	和牛の増頭や改良など鳥取県の和牛振興に向けた事業の財源に充当するため、県有種雄牛の精液販売収入や(一社)家畜改良事業団への貸付料を本基金へ積立てた。							
	種雄牛精液販売収入		239,684,940円					
利息(前年度分)		8,215円						
種雄牛貸付料		4,400,000円						
【主な不用額の理由】県有種雄牛「美国白清」の精液販売が好調だったので増額補正(18,000本)を行ったが、最終的に見込んだ本数までは販売が伸びなかった。(7,474本)								
県優良種雄 牛造成事業	51,695,000	△2,000 ,000	(16,000 ,000) 16,000 ,000	3,632 ,000	(16,000,000) 69,327,000	(3,989,700) 20,566,527	(12,010,300) 48,760,473	(24.9) 29.7
【流用】畜産振興費 和牛増頭対策事業から 3,632,000								
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	1 種雄牛を生産するための雌牛群の確保、雄牛の購入、後代検定用子牛の交配、後代検定を実施する肥育農家へ価格補償を行った。							
	事業実施主体		実績内訳(円)		事業概要			
県		273,500		優良基礎雌牛整備費(報償費)				
		450,000		後代検定手当(報償費)				
		3,524,000		後代検定用牛づくり(報償費)				
(公社)鳥取県畜産推進機構		1,854,854		育種価算出事業(委託料)				
		1,040,626		改良推進基金造成(補助金)				
鳥取県和牛育種組合		250,000		系統雌牛保留支援(補助金)				
県		4,169,970		後代検定経営補償(補てん)				
		972,758		遺伝病検査料(役務費)				
		2,640,000		直検牛購入(備品購入)				
		16,825		和牛改良委員会(報償費、旅費)				
		45,628		標準事務費(需用費、使用料)				
		15,238,161						
2 「白鵬85の3」「百合白清2」で改良が進む県内繁殖雌牛に交配可能な高能力種雄牛を造成するため、県内外からの高能力雌牛の導入を支援した。								
事業実施主体		実績内訳(円)		事業概要				
JA		1,338,666		1頭導入(補助金)				
県(畜産試験場)		3,989,700		1頭導入(R1繰越分)				
【主な不用額の理由】								
1 補てん対象の子牛や肥育牛が高価格で販売されたため、補てん額が抑えられた。								
2 新型コロナウイルスの影響で県外せり市場へ行く機会が減り、また県内市場は価格が高く、高能力雌牛の積極的な購入ができなかった。								

(単位：円)

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A									
	当初予算額	補正予算額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減					計 A								
(主) 和牛増頭対 策事業	232,150,000	△ 19,868,000		△3,632 ,000	208,650,000	149,448,627	59,201,373	71.6									
【流用】畜産振興費 県優良種雄牛造成事業へ △3,632,000																	
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	<p>主な事業に関する調べのとおり</p> <p>【主な不用額の理由】 新型コロナウイルスの影響で県外せり市場へ行く機会が減り、また県内市場は価格が高く、 適当な雌牛や肥育素牛を購入することができなかった。</p>																
鳥取和牛ブ ランド強化 対策事業	2,868,000				2,868,000	1,617,341	1,250,659	56.4									
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	<p>「鳥取和牛」のブランド強化のため生体の東京市場出荷に取り組み、東京市場でのPRや東京 出荷輸送等にかかる経費を助成した。 鳥取県産牛肉の周知や関係者の技術研鑽のため、研修会や枝肉共励会の開催を支援した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>実績内訳(円)</th> <th>事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東京市場出荷支援</td> <td style="text-align: right;">1,518,641</td> <td>149 頭出荷</td> </tr> <tr> <td>共励会等開催支援</td> <td style="text-align: right;">98,700</td> <td>研修会 2 回、共励会 2 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な不用額の理由】 新型コロナウイルスの影響で、東京市場へ牛を出荷した生産者が随行を見合わせたことや、 予定していた研修会等が中止された。</p>									実績内訳(円)	事業概要	東京市場出荷支援	1,518,641	149 頭出荷	共励会等開催支援	98,700	研修会 2 回、共励会 2 回
	実績内訳(円)	事業概要															
東京市場出荷支援	1,518,641	149 頭出荷															
共励会等開催支援	98,700	研修会 2 回、共励会 2 回															
(主) 第 1 2 回 全 共 出 品 対 策 事 業	4,197,000				4,197,000	2,722,711	1,474,289	64.9									
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	<p>主な事業に関する調べのとおり</p> <p>【主な不用額の理由】 新型コロナウイルスの影響で、県外の全共技術指導講師の招聘や、全共先進地への視察研修 等が行えなかった。</p>																
鳥取和牛遺 伝子情報管 理・活用シ ステム導入 事業	31,564,000	△31,564,000			0												
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	<p>当該事業を国が実施することとなったため。</p>																

(単位：円)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A																																
	当初予算額	補正予算額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A																																				
畜産経営安定対策事業	49,539,000	51,291,000			100,830,000	98,091,287		2,738,713	97.3																																
事業計画と 実績・成果、 不用額の理 由等	<p>畜産経営者の経営安定を図るため、出荷した牛、豚の価格が低落した場合に赤字部分を補てんする財源となる基金への生産者積立分の助成もしくは県分を負担した。</p> <p>1 肉用牛肥育経営安定対策事業 牛肉の枝肉価格の低落に対する補てん金の財源となる基金への積立金への助成。 実施主体 (公社) 鳥取県畜産推進機構 事業費 243,862,000円 (国3/4、生産者1/4：生産者分の1/3を助成) 補助金額 81,263,630円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年1-3月</th> <th>令和2年4-12月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肉専用種</td> <td>単価：6,000円、出荷頭数：909頭</td> <td>単価：70,000円、出荷頭数：2,420頭</td> </tr> <tr> <td>乳用種</td> <td>単価：19,000円、出荷頭数：715頭</td> <td>単価：19,000円、出荷頭数：1,832頭</td> </tr> <tr> <td>交雑種</td> <td>単価：17,000円、出荷頭数：909頭</td> <td>単価：20,000円、出荷頭数：797頭</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 肉豚経営安定対策事業 豚肉の枝肉価格の低落に対する補てん金の財源となる基金への積立金への助成。 実施主体 (公社) 鳥取県畜産推進機構 事業費 35,091,600円 (国3/4、生産者1/4：生産者分の1/3を助成) 補助金額 11,667,957円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度第1~4四半期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単価：400円、出荷頭数：87,729頭</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 肉用子牛価格安定事業 子牛価格の低落に対する補てん金の財源となる基金への県負担分を積み立てた。 実施主体 (公社) 鳥取県畜産推進機構 事業費 20,638,800円 (国1/2、生産者1/4、県1/4) 補助金額 5,159,700円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年1-3月</th> <th>令和2年4-12月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肉専用種</td> <td>単価：1,200円、出荷頭数：781頭</td> <td>単価：1,600円、出荷頭数：2,187頭</td> </tr> <tr> <td>乳用種</td> <td>単価：6,400円、出荷頭数：416頭</td> <td>単価：6,800円、出荷頭数：815頭</td> </tr> <tr> <td>交雑種</td> <td>単価：2,400円、出荷頭数：676頭</td> <td>単価：3,200円、出荷頭数：1,983頭</td> </tr> <tr> <td>褐色和種</td> <td>—</td> <td>単価：6,000円、出荷頭数：5頭</td> </tr> <tr> <td>その他肉専用種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>									区分	令和2年1-3月	令和2年4-12月	肉専用種	単価：6,000円、出荷頭数：909頭	単価：70,000円、出荷頭数：2,420頭	乳用種	単価：19,000円、出荷頭数：715頭	単価：19,000円、出荷頭数：1,832頭	交雑種	単価：17,000円、出荷頭数：909頭	単価：20,000円、出荷頭数：797頭	令和2年度第1~4四半期	単価：400円、出荷頭数：87,729頭	区 分	令和2年1-3月	令和2年4-12月	肉専用種	単価：1,200円、出荷頭数：781頭	単価：1,600円、出荷頭数：2,187頭	乳用種	単価：6,400円、出荷頭数：416頭	単価：6,800円、出荷頭数：815頭	交雑種	単価：2,400円、出荷頭数：676頭	単価：3,200円、出荷頭数：1,983頭	褐色和種	—	単価：6,000円、出荷頭数：5頭	その他肉専用種	—	—
	区分	令和2年1-3月	令和2年4-12月																																						
	肉専用種	単価：6,000円、出荷頭数：909頭	単価：70,000円、出荷頭数：2,420頭																																						
	乳用種	単価：19,000円、出荷頭数：715頭	単価：19,000円、出荷頭数：1,832頭																																						
	交雑種	単価：17,000円、出荷頭数：909頭	単価：20,000円、出荷頭数：797頭																																						
	令和2年度第1~4四半期																																								
	単価：400円、出荷頭数：87,729頭																																								
	区 分	令和2年1-3月	令和2年4-12月																																						
	肉専用種	単価：1,200円、出荷頭数：781頭	単価：1,600円、出荷頭数：2,187頭																																						
	乳用種	単価：6,400円、出荷頭数：416頭	単価：6,800円、出荷頭数：815頭																																						
交雑種	単価：2,400円、出荷頭数：676頭	単価：3,200円、出荷頭数：1,983頭																																							
褐色和種	—	単価：6,000円、出荷頭数：5頭																																							
その他肉専用種	—	—																																							

(単位：円)

事業名	予 算 現 額				計 A	支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A
	当初予算額	補正予算額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減					
生乳増産対 策支援事業	15,578,000	△5,200,000		△2,258 ,300	8,119,700	6,176,158		1,943,542	76.1
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	【流用】畜産総務費 畜産課管理運営費へ △707,300 畜産試験場費 畜産試験場管理運営費 △1,551,000								
	生乳生産量6万トン以上の確保を目標に、乳用牛全頭のゲノム育種価検査を4年計画で進めるとともに、生乳生産性向上や省力化に取り組む4戸の酪農家の施設・機械整備等に対して支援を行った。								
	事業概要		事業実施主体		事業費(円)		説明		
担い手施設整備対策事業		大山乳業農協		4,878,200		牛舎二重屋根、換気扇			
ゲノム育種価改良対策支援事業				1,297,958		351頭分を検査			
鳥取地どり ブランド生 産拡大支援 事業	2,334,000				2,334,000	1,660,076	0	673,924	71.1
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	県が作出した「鳥取地どりピヨ」のブランド定着のため、生産性向上に資する施設及び設備の整備を行う生産者に助成した。								
	事業実施主体		事業費(円)		事業内容				
	(株)鹿野地鶏		1,620,422		製氷機1台、冷凍庫2台				
(株)楽粋		39,654		給水ポンプ1台、噴霧器1台					
第15回全 日本ホルス タイン共進 会対策事業	4,997,000	△ 4,447,000			550,000	4,988	0	545,012	0.9
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	10月に宮崎県で開催予定であった第15回全日本ホルスタイン共進会への出品に向けた準備経費を対策委員会へ補助した。								
	【主な不用額の理由】新型コロナウイルスの影響で大会が中止となった。								
公共育成牧 場施設維持 管理業務	6,076,000	△ 6,076,000			0				
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	他事業の一環で復旧可能となったため、実施を見送った。								



(単位：円)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A														
	当初予算額	補正予算額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A																		
ICTを活用した牧場管理システム導入事業	1,816,000				1,816,000	1,766,000	0	50,000	97.2														
事業計画と実績・成果、不用額の理由等	鳥取放牧場においてICT技術やドローンを導入し、飼養管理の省力化・軽労力化につなげた。 導入備品：牛群管理システム（センサー100台、中継器5台）、ドローン1台																						
和牛肥育経営緊急支援事業		33,571,000			33,571,000	23,350,392		10,220,608	69.6														
	【調整費】23,000,000																						
事業計画と実績・成果、不用額の理由等	<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴う景気の低迷により牛肉の需要が低下し肥育農家への影響が懸念されたため、対策事業を行った。</p> <p>1 経営安定対策費 国の肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）で補てんされる標準的販売価格と標準的生産費の差額の9割に対して5%の上乗せ補助を行った</p> <p>2 牛肉保管対策費 牛肉の在庫の解消を図るため、当該在庫の保管経費等の補助（国の和牛肉保管在庫支援緊急対策事業の対象とならない乳用種等の牛肉を対象）を行った</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施主体</th> <th>事業費（円）</th> <th>補助金額（円）</th> <th>事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(公社)鳥取県畜産推進機構</td> <td>72,636,046</td> <td>36,283,870</td> <td>経営安定対策事業</td> </tr> <tr> <td>4,868,694</td> <td>2,321,255</td> <td>牛肉保管対策費</td> </tr> <tr> <td>131,002</td> <td>131,002</td> <td>事務費</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な不用額の理由】 年度後半から枝肉価格が回復し、牛マルキン制度に係る交付金単価が下落したことに伴い、県補助単価も下がった。また、当初予定したよりも在庫量が少なかった。</p>									実施主体	事業費（円）	補助金額（円）	事業概要	(公社)鳥取県畜産推進機構	72,636,046	36,283,870	経営安定対策事業	4,868,694	2,321,255	牛肉保管対策費	131,002	131,002	事務費
実施主体	事業費（円）	補助金額（円）	事業概要																				
(公社)鳥取県畜産推進機構	72,636,046	36,283,870	経営安定対策事業																				
	4,868,694	2,321,255	牛肉保管対策費																				
	131,002	131,002	事務費																				
鳥取県産和牛の保護及び振興事業		7,000,000			7,000,000	5,893,405		1,106,595	84.2														
事業計画と実績・成果、不用額の理由等	<p>令和2年10月に制定した鳥取県産和牛の保護及び振興に関する条例に基づき、県内和牛産業の振興を図るための和牛振興計画の策定と条例の周知を進めた。</p> <p>1 和牛振興計画の策定 計画策定に向け、振興会議と4分野の部会を開催し検討を進めた。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td colspan="2">鳥取県和牛振興会議 開催2回、委員10人</td> </tr> <tr> <td>遺伝資源管理部会 開催2回、委員17人</td> <td>生産部会 開催2回、委員14人</td> </tr> <tr> <td>和牛改良部会 開催1回、委員17人</td> <td>加工流通販売部会 開催1回、委員10人</td> </tr> </tbody> </table> <p>鳥取県和牛振興計画を令和3年4月に策定した。</p> <p>2 条例周知のため、新聞広告やポスター、チラシ等を作成、配布した。</p>									鳥取県和牛振興会議 開催2回、委員10人		遺伝資源管理部会 開催2回、委員17人	生産部会 開催2回、委員14人	和牛改良部会 開催1回、委員17人	加工流通販売部会 開催1回、委員10人								
鳥取県和牛振興会議 開催2回、委員10人																							
遺伝資源管理部会 開催2回、委員17人	生産部会 開催2回、委員14人																						
和牛改良部会 開催1回、委員17人	加工流通販売部会 開催1回、委員10人																						



(単位：円)

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	
	当初予算額	補正予算額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減					計 A
畜産クラスター施設整備事業		(0)	(450,000,000)		(450,000,000)	(336,769,000)	(0)	(113,231,000)	(74.8)
	1,136,023,000	450,000,000			1,586,023,000	336,769,000	1,136,023,000	113,231,000	21.2
事業計画と実績・成果、不用額の理由等	<p>畜産クラスターの行う生産規模拡大のための施設整備を支援する。</p> <p>1 令和元年度からの繰越分 鳥取地域全農クラスター協議会   大山町   畜舎2棟、交配舎1棟、汚水処理施設等</p> <p>2 令和2年度補正分 国の補正に合わせた予算措置で、全額次年度へ繰越する。</p> <p>【主な不用額の理由】入札による減（繰越分）、令和3年度への繰越（補正分）</p>								
酪農用非常電源緊急整備事業			(32,162,000)		(32,162,000)	(16,416,000)		(15,746,000)	(51.0)
			32,162,000		32,162,000	16,416,000		15,746,000	51.0
事業計画と実績・成果、不用額の理由等	<p>災害時の備えとして、生乳受入れ先の乳業工場の非常用発電機整備に対し支援を行った。</p> <p>【主な不用額の理由】入札による減</p>								
目計	631,754,000	1,204,199,000	498,162,000	△2,258,300	2,331,856,700	908,575,667,700	1,136,023,000	287,258,033	39.0

(単位：円)

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A																				
	当初予算額	補正予算 額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減					計 A																			
(家畜保健衛生費)																												
家畜保健衛生所管理運営費	30,090,000	4,033,000		428,275	34,551,275	32,291,350	2,259,925	93.5																				
	【流用】家畜保健衛生費 家畜衛生総合対策事業へ △228,750 家畜保健衛生費 特定家畜伝染病危機管理対策事業から 657,025																											
事業計画と実績・成果、不用額の理由等	1 鳥取・倉吉・西部各家畜保健衛生所の管理運営を行った。 2 動物用医薬品販売業及び動物用高度管理医療機器販売貸与業等の許認可事務を行った。 <table border="1" data-bbox="359 698 1401 779"> <tr> <td>許可件数</td> <td>29件(新規0件、更新11件、書換交付1件、再交付0件、販売従事登録新規13件、再交付3件、書換交付1件)</td> </tr> </table> 3 各家保の診断体制向上のため、薬用冷蔵ショーケース(各家保計3台)、培養倒立顕微鏡(倉吉家保)を整備した。								許可件数	29件(新規0件、更新11件、書換交付1件、再交付0件、販売従事登録新規13件、再交付3件、書換交付1件)																		
許可件数	29件(新規0件、更新11件、書換交付1件、再交付0件、販売従事登録新規13件、再交付3件、書換交付1件)																											
家畜衛生総合対策事業	36,170,000	6,468,000		228,750	42,866,750	39,091,471	3,775,279	91.2																				
	【流用】家畜保健衛生費 家畜保健衛生所管理運営費から 228,750																											
事業計画と実績・成果、不用額の理由等	1 家畜衛生関連情報整備対策 家畜伝染病監視情報の収集及び提供を行った。 <table border="1" data-bbox="338 1041 1086 1084"> <tr> <td>情報収集</td> <td>3家保、対象497戸、疾病発生報告100戸</td> </tr> </table> 2 動物用医薬品危機管理対策 動物用医薬品販売業への立入検査、畜産農家における薬剤耐性菌検査を実施した。 <table border="1" data-bbox="338 1153 1066 1234"> <tr> <td>販売業への立入検査</td> <td>97店舗</td> </tr> <tr> <td>薬剤耐性菌検査(サルモネラ、ブドウ球菌)</td> <td>13検体</td> </tr> </table> 3 地域衛生管理対策 各地域で問題となっている家畜の慢性疾患(牛の乳房炎、子牛・子豚の下痢・肺炎、牛伝染性リンパ腫)の発生低減対策とまん延防止の仕組みづくりをするための検査及び指導を行った。 <table border="1" data-bbox="338 1375 1182 1496"> <tr> <td>牛の乳房炎検査</td> <td>延べ216検体</td> </tr> <tr> <td>幼畜疾病対策</td> <td>牛916頭、豚837頭 計1,753頭</td> </tr> <tr> <td>牛伝染性リンパ腫清浄化対策</td> <td>463頭</td> </tr> </table> 4 畜産物の安全性確保対策 地域流通飼料のかび毒検査を行った。 <table border="1" data-bbox="338 1574 743 1615"> <tr> <td>かび毒検査</td> <td>1戸、1検体</td> </tr> </table> 5 事業関連機器の整備 倉吉家畜保健衛生所に電子天秤、超微量分光光度計、パラフィン溶融機を導入した。また、豚熱及びアフリカ豚熱の診断に必要な凍結組織切片作製装置を整備した。           6 家畜伝染病予防事業 家畜の伝染病予防とまん延防止を図るため、家畜伝染病の検査や防疫措置を行った。 <table border="1" data-bbox="338 1787 1410 1989"> <tr> <td>検査実績頭数</td> <td>牛 32,378 頭、馬 407 頭、豚 73,635 頭、羊 179 頭、鶏 618,314 羽、みつばち416群</td> </tr> <tr> <td>法定伝染病発生状況</td> <td>腐蛆病1件(1群)</td> </tr> <tr> <td>届出伝染病発生状況</td> <td>牛伝染性リンパ腫31件(41頭)、サルモネラ症(牛)1件(1頭)、破傷風1件(1頭)、豚丹毒3件(4頭)、アカリダニ症4件(6群)</td> </tr> </table>								情報収集	3家保、対象497戸、疾病発生報告100戸	販売業への立入検査	97店舗	薬剤耐性菌検査(サルモネラ、ブドウ球菌)	13検体	牛の乳房炎検査	延べ216検体	幼畜疾病対策	牛916頭、豚837頭 計1,753頭	牛伝染性リンパ腫清浄化対策	463頭	かび毒検査	1戸、1検体	検査実績頭数	牛 32,378 頭、馬 407 頭、豚 73,635 頭、羊 179 頭、鶏 618,314 羽、みつばち416群	法定伝染病発生状況	腐蛆病1件(1群)	届出伝染病発生状況	牛伝染性リンパ腫31件(41頭)、サルモネラ症(牛)1件(1頭)、破傷風1件(1頭)、豚丹毒3件(4頭)、アカリダニ症4件(6群)
情報収集	3家保、対象497戸、疾病発生報告100戸																											
販売業への立入検査	97店舗																											
薬剤耐性菌検査(サルモネラ、ブドウ球菌)	13検体																											
牛の乳房炎検査	延べ216検体																											
幼畜疾病対策	牛916頭、豚837頭 計1,753頭																											
牛伝染性リンパ腫清浄化対策	463頭																											
かび毒検査	1戸、1検体																											
検査実績頭数	牛 32,378 頭、馬 407 頭、豚 73,635 頭、羊 179 頭、鶏 618,314 羽、みつばち416群																											
法定伝染病発生状況	腐蛆病1件(1群)																											
届出伝染病発生状況	牛伝染性リンパ腫31件(41頭)、サルモネラ症(牛)1件(1頭)、破傷風1件(1頭)、豚丹毒3件(4頭)、アカリダニ症4件(6群)																											

(単位：円)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A
	当初予算額	補正予算 額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A				
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	7 死亡牛BSE検査事業 96ヶ月齢以上の全ての死亡牛について、BSE検査を実施した。								
	検査実績		67頭(全頭陰性)						
	8 家畜防疫事業基金 (1) 平成29年度から令和元年度の基金について無事戻しを行った。								
	実施主体			事業費(円)			補助金額(円)		
	(公社)鳥取県畜産推進機構			11,100,168(県1/3, 農協等2/3)			3,700,050		
	(2) 牛ウイルス性下痢・粘膜病の持続感染牛を自主的淘汰するための基金に助成した。								
	実施主体			事業費(円)			補助金額(円)		
	(公社)鳥取県畜産推進機構			3,738,082(県1/3, 農協等2/3)			1,246,027		
	9 鳥取県牛及び豚の予防接種促進費補助金 牛及び豚の伝染性疾病の発生予防のために、(公社)鳥取県畜産推進機構が行う予防接種の推進事業に対して助成を行った。								
	予防接種対象疾病		実績頭数		備 考				
牛伝染性鼻気管炎(牛)		11,476頭		単県					
アカバネ病(牛)		13,102頭							
豚丹毒(豚)		1,875頭							
特定家畜伝染病危機管理対策事業	45,245,000	34,775,000		13,423,025	93,443,025	43,527,759		49,915,266	46.6
【流用】畜産総務費 畜産課管理運営費から 50,050 家畜保健衛生費 家畜保健衛生所管理運営費へ △657,025 家畜保健衛生費 農場認証普及推進事業から 30,000 予備費 2,000,000(鳥インフル対策)、12,000,000(豚熱対策)									
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	1 特定家畜伝染病セーフティーネット事業 高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫等の県内発生による移動制限等の措置で生じた周辺農家の損失等を補償することで、農家の経営維持・再開が可能となる支援体制を整えた。								
	2 家畜伝染病迅速防疫体制整備事業 高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫等の家畜伝染病が県内で発生した場合に、県が殺処分家畜などの焼却、埋却等を実施することで、迅速かつ的確な防疫措置が可能となる体制を整備した。								
	3 防疫対応整備事業 (1) 水際対策、防疫演習等 口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの発生に備えた防疫資材の備蓄(炭酸ガスボンベ)、防疫演習の実施、職員の教育訓練を実施した。また、口蹄疫が常在している東アジアからの口蹄疫の侵入を防止する目的で、境港、美保飛行場及び鳥取空港における国際定期便・臨時便旅行者への靴底消毒を委託したが、新型コロナウイルス感染症の影響により実績はなかった。								
	(2) 野生イノシシの血液採材委託 野生イノシシの豚熱感染状況把握のため、捕獲野生イノシシの血液採材を実施した。								
実施主体			採材頭数						
一般社団法人鳥取県猟友会			140頭						

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A
	当初予算額	補正予算 額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減				
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	(3) 防疫備蓄資材の配備 迅速な初動防疫に備え、電殺機を3台整備した。							
	4 ASF検査体制強化事業 (6月補正) 野生いのししの豚熱検査と交差汚染を防止するため、CSF・ASF検査施設を増築し、 アフリカ豚熱検査に必要な機器を整備した。 (自動血球計算装置、サーマルサイクラー、安全キャビネット各1台)							
	5 鳥取県飼養衛生管理強化事業 養豚農家の飼養衛生管理向上のため、動力噴霧器等購入に係る経費を補助した。							
	事業実施主体				事業内容			
	鳥取県養豚生産者協議会				死体保管庫2台、ヨド物置1台、動力噴霧器2台 タンク1台、防獣ネット1×50m、2×50m			
	6 鳥インフルエンザ緊急防疫対策事業							
	(1) 西日本を中心とした鳥インフルエンザ発生に伴い、発生予防のため緊急に県内養鶏農場 へ消石灰を配布した。							
	回数		配布数 (袋)		備考			
	1回目 (11月)		2,088		予備費			
	2回目 (12月)		3,995		事業内流用			
	3回目 (2月)		4,000		補正予算			
	(2) 鳥インフルエンザまん延防止のため、迅速な初動防疫に備え、殺処分に係る防疫資材 (ミッペール2,000個、段ボール2,000枚、ポリ袋4,000枚)を整備した。(事業内流用)							
	(3) 鳥インフルエンザの発生予防・まん延防止を目的とし、鶏舎・堆肥舎等に野鳥の侵入防 止のための防鳥ネットの設置を支援した。							
	事業実施主体				事業費 (円)			
	鳥取県養鶏協会				2,943,980			
鳥取地どり生産者協議会				29,650				
7 豚熱緊急防疫対策事業								
(1) 野生イノシシの豚熱感染が近隣県で確認されたことを受け、発生予防のため緊急に県内 養豚農場へ消石灰を配布した。								
回数		配布数 (袋)		備考				
1回目 (11月)		756		予備費				
2回目 (2月)		1,000		事業内流用				
3回目 (3月)		1,000		予備費				
(2) 兵庫県における野生イノシシ感染確認に伴い、鳥取県がワクチン接種推奨地域に指定さ れたことから、ワクチン接種に係る資材や機器を整備した。								
防疫資材							機器	
消毒用アルコール120本、カット綿30箱、マーキングスティック6セット、 長靴、パウダフリー手袋160箱、ディスプレイマスク、移動パネル16 枚、畜産用カラスプレー72本、キャップ24箱、クーラーボックス5 個、ブーツカバー7箱、豚保定器具34個、トランスファーニードル100個							動力噴霧器 1台	
【主な不用額の理由】 特定家畜伝染病の発生がなかったため、処分作業等を行わなかった。								

(単位：円)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A
	当初予算額	補正予算額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A				
農場認証普及推進事業	1,742,000			△30,000	1,712,000	278,863		1,433,137	16.3
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	【流用】家畜保健衛生費 特定家畜伝染病危機管理対策事業へ △30,000								
	食の安全・安心のため、農場段階での工程管理システムである農場HACCPの取組の啓発及び取組農場の支援を行った。								
	調査研究		検討会 0回						
	研修会等開催		生産者向け研修会 0回						
指導体制の強化		指導員育成研修会 3回							
認定手数料等の助成		推進農場 1農場、認証農場 1農場							
【主な不用額の理由】新型コロナウイルスの影響で研修会等が中止された									
獣医師確保対策事業	1,042,000				1,042,000	478,500		563,500	45.9
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	不足する公務員獣医師の確保対策事業を行った。								
	獣医系大学訪問		Web開催 2校 ※中止の大学にはチラシを送付						
	社会人獣医師インターンシップ助成		0人 ※申込みはあったが緊急事態宣言期間中であったため中止						
	その他のインターンシップ等の受け入れ		鳥取大学の実習 8人 (公社)中央畜産会 2人						
	募集情報の提供		専門誌への広告掲載2回、ホームページ掲載						
	鳥取大学への協力要請		地域推薦枠設置への協力要請 2回						
【主な不用額の理由】新型コロナウイルスの影響で大学訪問ができなかった他、県外学生のインターンシップ受け入れができなかった。									
鳥取家畜保健衛生所家畜焼却施設設備事業費			(76,750,300)		(76,750,300)	(70,512,500)		(6,237,800)	91.9
			76,750,300		76,750,300	70,512,500		6,237,800	
事業計画と実績・成果、不用額の理由等	老朽化した鳥取家畜保健衛生所の家畜焼却施設を新築(平屋 96.85㎡)し、設備(焼却炉、冷蔵設備)を整備した。								
目 計	114,289,000	45,276,000	(76,750,300)	14,050,050	(76,750,300)	(70,512,500)		(6,237,800)	(91.9)
			76,750,300		250,365,350	186,180,443		64,184,907	74.4

(単位：円)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A
	当初予算額	補正予算 額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A				
(畜産試験場費)									
畜産試験場 管理運営費	0			1,551,000	1,551,000	1,540,000		11,000	99.3
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	【流用】畜産振興費 生乳増産対策支援事業から 1,551,000 畜産試験場乳牛舎のストールの修繕を行った。								
目計	0			1,551,000	1,551,000	1,540,000		11,000	99.3

(単位：円)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A
	当初予算額	補正予算 額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A				
(一般管理費)									
和牛肥育経 営緊急支援 事業	0			23,000,000	23,000,000	15,385,735		7,614,265	66.9
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	新型コロナウイルス感染拡大に伴う景気の低迷により牛肉の需要が低下し肥育農家への影響が懸念されたため、対策事業を行った。 事業の説明は畜産振興費の同事業のとおり								
目計	0			23,000,000	23,000,000	15,385,735		7,614,265	66.9
(諸費)									
補助金返還 金	0			773,176	773,176	773,176		0	100.0
事業計画と 実績・成 果、不用額 の理由等	平成28年度畜産・酪農収益力強化総合対策基金事業施設整備補助金の返還経費								
目 計	0			773,176	773,176	773,176		0	100.0
合 計	1,421,600 ,000	1,250,950 ,000	(574,912 ,300) 574,912 ,300	34,567 ,176	(574,912 ,300) 3,282,029 ,476	(427,687 ,200) 1,778,930 ,671	1,136.0 23,000	(147,225 ,100) 367,075 ,805	(74.4) 54.2



8 予備費の充用調べ

(単位:円)

項目	予算外の支出に充用したもの			
	充用額	執行額	執行残額	充用した理由
02畜産業費				
03家畜保健衛生費	2,000,000	1,565,788	434,212	令和2年11月に香川県で高病原性鳥インフルエンザが発生。県内への侵入防止のため、全養鶏場へ防疫用消石灰を緊急配布した
1102その他需用費				
合計	2,000,000	1,565,788	434,212	

(単位:円)

項目	予算外の支出に充用したもの			
	充用額	執行額	執行残額	充用した理由
02畜産業費				
03家畜保健衛生費	11,000,000	4,495,445	6,504,555	令和3年3月に兵庫県で豚熱に感染した野生いのししを確認。県内への侵入防止のため、全養豚場へ防疫用消石灰を緊急配布するとともに、消毒液や噴霧器を家保に配備した。
1102その他需用費	1,000,000	599,500	400,500	
03家畜保健衛生費				
18備品購入費				
合計	12,000,000	5,094,945	6,905,055	

9 繰越関係調べ

(1) 繰越費運次繰越調べ 該当なし

科目	事業名	継続費の総額	本年度経費予算額		残額	支出総額	翌年度繰越額	左の財源内訳	
			予算計上額	前年度繰越額				繰越金	特定財源
合計		0	0	0	0	0	0		

(2) 繰越明許費調べ

科目	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳				繰越理由
				既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源	その他	
畜産振興費	畜産クラスター施設整備事業費	1,136,023,000	1,136,023,000	0	754,228,000	381,795,000	0	国の補正に合わせた予算措置で、全額次年度へ繰越する。
合計		1,136,023,000	1,136,023,000	0	754,228,000	381,795,000	0	

(3) 事故繰越調べ 該当なし

科目	事業名	支出負担行為額	左の内訳		支出負担行為予定額	翌年度繰越額	左の内訳		繰越理由
			支出済額	支出未済額			既収入特定財源	未収入特定財源	
合計		0	0	0	0	0	0		



10 収入証紙取扱調べ

有  無

11 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況 該当なし

(2) つり銭の状況 該当なし

12 財産に関する調べ  
 (1)公有財産  
 了土地

財産の 区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考			
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日		面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	
					増加 減少									
行政財産	畜産試験場	琴浦町松谷字西高野606-1外	275,476.86	5,474,434	増加	R					275,476.86	5,474,434		
	中小家畜試験場	南部町北方山ノ奥尻1216-1外	126,615.78	不明	増加 減少	R R					126,615.78	不明		
	鳥取家畜保健衛生所	鳥取市国安字高土手210-9・210-13	3,825.04	0	増加 減少	R R					3,825.04	0		
	倉吉家畜保健衛生所	倉吉市清谷町二丁目131・132・133	1,701.15	54,416,946	増加 減少	R R					1,701.15	54,416,946		
	西部家畜保健衛生所	伯耆町金屋谷字段ノ原1540-16・1540-17・1540-18	3,167.58	14,027,195	増加 減少	R R					3,167.58	14,027,195		
	(元)鳥取農業高等学校	鳥取市湖山町南五丁目812	0.00		増加 減少	R2.6.30 R	2,903.17	不明			2,903.17	不明	とっとり農業戦略課から	
	計			410,786.41	73,918,575			2,903.17	0.00		410,786.41	73,918,575		
	普通財産	中小家畜試験場 綿屋分場地	南部町綿屋門ナシ108外	62,251.82	15,010,286	増加 減少	R R					62,251.82	15,010,286	
		西部家畜保健衛生所	伯耆町金屋谷字段ノ原1540-17	10.58	60,808	増加 減少	R R					10.58	60,808	
		大山放牧場	伯耆町小林字水無原2-5外	1,367,742.20	不明	増加 減少	R R					1,367,742.20	不明	
鳥取放牧場		鳥取市越路字破山737-1外	1,921,564.69	不明	増加 減少	R R					1,921,564.69	不明		
鳥取放牧場		鳥取市国府町雨滝字河合谷956-1外	1,268,872.00	不明	増加 減少	R R					1,268,872.00	不明		
鳥取放牧場		鳥取市河原町北村字兵円山891-16外	1,348,634.34	不明	増加 減少	R R					1,348,634.34	不明		
死亡牛一時保管施設		琴浦町松谷字西高尾606-8外	1,211.40	不明	増加 減少	R R					1,211.40	不明		
死亡牛一時保管施設		琴浦町松谷字西高尾606-8外	793.90	不明	増加 減少	R R					793.90	不明		
(元)八橋警署		東伯郡琴浦町八橋645	7,187.97	41,515,573	増加 減少	R R					7,187.97	41,515,573		
計				5,978,268.90	56,586,667			0.00	0		5,978,268.90	56,586,667		
合計			6,389,055.31	#####			2,903.17	0		6,389,055.31	130,505,242			

(令和3年3月31日現在)

イ 建物

(令和3年3月31日現在)

財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					本年度末		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )		価額(円)
行政財産	畜産試験場	琴浦町松谷606	12,328.90	1,158,205,175	増加 減少	R R			R1.8.9 R	12,328.90	1,158,205,175		
	中小家畜試験場	南部町北方633	6,009.52	671,641,438	増加 減少	R R			R R	6,009.52	671,641,438		
	中小家畜試験場 綿屋分場敷地	南部町綿屋	127.52	0	増加 減少	R R			R R	127.52	0		
	鳥取家畜保健衛生所	鳥取市国安字高土手210-9外	738.12	不明	増加 減少	R R	96.85	39,814,500	増築	R2.6.12 R	834.97	不明	焼却棟
	倉吉家畜保健衛生所	倉吉市清谷町二丁目132	1,312.89	451,155,600	増加 減少	R R			R R	1,312.89	451,155,600		
	西部家畜保健衛生所	伯耆町金屋谷字段ノ原1540-16,1540-17	860.10	262,045,058	増加 減少	R R			R R	860.10	262,045,058		
				21,377.05	2,543,047,271	増加 減少	R R	96.85	39,814,500		21,473.90	2,543,047,271	
	計			0.00	0	増加 減少	R R				0.00	0	
				2,729.99	156,006,898	増加 減少	R R			R R	2,729.99	156,006,898	
				7,932.12	1,411,110,300	増加 減少	R R			R R	7,932.12	1,411,110,300	
普通財産	鳥取放牧場	鳥取市越路字蓬谷地内外	9,981.92	不明	増加 減少	R R			R R	9,981.92	不明		
	鳥取放牧場河合谷牧野	鳥取市国府町雨滝字河合谷	779.40	71,584,000	増加 減少	R R			R R	779.40	71,584,000		
	鳥取放牧場兵内	鳥取市河原町北村字兵内	447.55	30,003,400	増加 減少	R R			R R	447.55	30,003,400		
	大山放牧場徳原牧野	三朝町徳原字菅原	904.84	30,030,817	増加 減少	R R			R R	904.84	30,030,817		
	死亡牛一時保管施設	琴浦町松谷606-8	122.49	40,881,750	増加 減少	R R			R R	122.49	40,881,750		
	(元)八橋警察署	琴浦町八橋645	1,111.59	59,560,160	増加 減少	R R			R R	1,111.59	59,560,160		
				24,009.90	1,799,177,325	増加 減少	R R	0.00	0		24,009.90	1,799,177,325	
	計			45,386.95	4,342,224,596	増加 減少	R R	96.85	39,814,500		45,483.80	4,342,224,596	
	合計												

ウ 山林 該当なし

エ 不動産売却等 該当なし

オ 財産の交換 該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし

キ 物権 該当なし

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等)

(ア) 異動状況

(令和3年3月31日現在)

区分	前年度末(件)	本年度中(件)		本年度末(件)	備考
		増	減		
商標権	1	1	0	2	大山ルビ—(RB)の所管をととり農業戦略課から移管
合計	1	1	0	2	

(イ) 出願及び登録の状況

区分	名称	出願日	登録日	活用の有無
商標権	「鳥取地どりピヨ」の商標登録に係る権利	(H11.10.18) H21.10.5	(H11.12.3) H21.10.29	無
	「大山ルビ—(RB)」の商標登録に係る権利	(H22.2.18) R2.12.23	(H23.1.7) R3.1.7	無
出願中	0件	登録	2件	

(ウ) 活用の状況

権利・品種名	相手方	契約年月日	契約期間	実施料収入額	利用料の算定式	減免の有無
「鳥取地どりピヨ」の商標登録に係る権利	個人	H13.3.19	期限なし	徴収しない	—	—
	(株)ふるさと鹿	H17.1.17	期限なし	徴収しない	—	—
	(株)あべ鳥取	H19.7.3	期限なし	徴収しない	—	—
	個人	H20.7.16	期限なし	徴収しない	—	—
	夢食研(株)	H24.6.22	期限なし	徴収しない	—	—

ケ 有価証券 該当なし

コ 出資による権利

(令和3年3月31日現在)

区 分	前年度末 (数量、金額)	本 年 度 中		本年度末 (数量、金額)	法 人 名	備 考
		増	減			
出 捐 金	円 60,000	円	円	円 60,000	(公財)鳥取県畜産振興協会	
	1,000,000			1,000,000	(公財)中国四国酪農大学校	
	711,000			711,000	鳥取県農業信用基金協会	
出 資 金	101,000,000			101,000,000	(公社)鳥取県畜産振興協会	
	210,000,000			210,000,000	(公社)鳥取県畜産推進機構	鳥取県ふるさと獣医師確保事業
	10,000,000			10,000,000	(公社)鳥取県畜産推進機構	畜産自衛防疫事業基金
	45,000,000			45,000,000	(公社)鳥取県畜産推進機構	肉用子牛価格安定事業基金
	1,020,000			1,020,000	鳥取県農業信用基金協会	
	25,207,673		4,749,503	20,458,170	大山乳業農業協同組合	鳥取県酪農ヘルパー事業基金
	4,900,000			4,900,000	(一社)家畜改良事業団	
	3,000,000			3,000,000	(公社)日本食肉格付協会	
	2,000,000			2,000,000	(一社)日本養鶏協会	
	1,000,000			1,000,000	(一社)日本家畜商協会	
200,000			200,000	(一社)日本草地畜産種子協会		
合 計	405,098,673	0	4,749,503	400,349,170		

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和3年3月31日現在)

前年度末 未使用枚数	本 年 度 中		本年度末	備 考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
枚 25		枚 0 円 0	枚 25	

(3) 基金

(令和3年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		増	減		
鳥取県和牛振興戦略基金	円 436,287,072	円 239,330,925	円 197,979,403	円 477,638,594	
合 計	436,287,072	239,330,925	197,979,403	477,638,594	

(4) 債 権

(令和3年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備 考
	件数	金 額	増		減		件数	金 額	
			件数	金 額	件数	金 額			
		円		円		円		円	
行政財産 使用料	2	57,240			1	34,740	1	22,500	畜産試験場
	1	720			1	720	0	0	中小家畜試験場
	0	0	1	66,000			1	66,000	鳥取家畜保健衛生所
	1	10,500			1	10,500	0	0	西部家畜保健衛生所
財産貸付 収入	15	26,553,991	1	4,320	4	2,509,926	12	24,048,385	畜産課
	1	19,044	1	4,400,000		6,348	2	4,412,696	畜産試験場
	2	3,224				359	2	2,865	中小家畜試験場
	1	6,484				1,621	1	4,863	鳥取家畜保健衛生所
	0	0	1	2,960			1	2,960	西部家畜保健衛生所
貸付金									
合 計	23	26,651,203	4	4,473,280	7	2,564,214	20	28,560,269	

13 財産の貸付け及び使用許可調べ  
 (1) 土地及び建物  
 ア 土地

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	所名	
普通財産	風力発電施設改修用地	鳥取市越路字蓬谷 地内 鳥取放牧場	4,639.8㎡	R2.10.10	R2.10.10	R2.10.10 ~ R2.11.27	273	273	鳥取市古海250番地 鳥取県企業局東部事務所	20-00156796 (新規)	
	行政防災無線再送信局用地	鳥取市河原町弓河内 字兵円山 鳥取放牧場兵円牧野	4.5㎡	R2.10.8	R2.10.8	R2.10.8 ~ R7.3.31	0	0	鳥取市幸町71番地 鳥取市	20-00144844 (新規)	
	電力供給配電線指示物用地	鳥取市越路字蓬谷 地内 鳥取放牧場 鳥取市国府町雨滝 地内 鳥取放牧場河合谷 牧野 鳥取市河原町弓河 内字兵円山 鳥取放牧場兵円牧 野	本柱 53本 引込柱 1本 支線 44条 支柱 3本 本柱 17本 支線 15条 支柱 2本 本柱 89本 支線 68条 支柱 24本 支線柱 1本	R2.5.12	H21.3.25	H31.4.1 ~ R6.3.31	57,240	57,060	鳥取市新品治町1-6 中国電力ネットワーク(株)鳥取 ネットワークセンター	20-00028601 (更新)	
合計								57,333			20-00200683 (更新)

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	所名	
普通財産	大山まきばのレストラン等の営業販売	西伯郡伯耆町小林 水無原2-11 大山放牧場 畜産物加工展示販売施設	151.83	R2.5.22	R2.5.22	R2.5.22 ~ R2.12.5	425,420	425,420	東伯郡琴浦町保37-1 大山乳業農業協同組合	20-00312770 (新規)	
合計								425,420			



(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所 氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
ラッピングマシン	1	ウンダーハウグ社7510W-750	H30.4.1~ R3.3.31 (変更契 約日は備 考欄に記 載)	無償		鳥取市越 路字蓬谷 775-1 (公財)鳥 取県畜産 振興協会	鳥取 放牧場	牧場運営	
ロールペーラ	1	スターTRB3050							
切返装置ローダー	1	TCMホイールローダー切替機1式							
小型四輪貨物自動車	1	FG50EB							
ホイールショベル	1	コマツWAZO-2E							
トラクター	1	マッセイファーガソン製 MF6260-4cs							
トラクター	2	マッセイファーガソン製 MF5455- 4FDX							
クリーチベンチ	1	ヤマト科学 ADW-130							
ホイールローダー	1	TCM L13-3							
草地簡易更新機	1	エイチゾン シードマッチク3116CT							
TMRミキサー	1	トリオリット SOLOMIX-2 SMD1200							
超音波診断装置	2	イサオテ・ヨーロッパ社 トリカ、Vリニア							
ハイオET車	1	トヨタハイエースDX							
ラウンドペールサイレー ジチョッパー	1	ダフ社ペールディストリビュータCD12							
インフォメーション	1	丸什器							
トラクター	1	マッセイファーガソン製 MF5455- 4FDX							
オガ粉製造機	1	YSCK1600, GKW1200 II							
ホイールショベル	1	コマツWAZO-2E							
トラクター	1	マッセイファーガソン製 MF5455- 4FDX							
合計									

14 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の状況				借受先 住所名	備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円)			
							単価	本年度の借料		
土地	原野	俵原牧野用地	東伯郡三朝町俵原	675,919.50	有	S45.4.1~	月額・年額 924,482	924,482	東伯郡三朝町大瀬999-2 三徳財産区 管理者 三朝町長	
	山林	河合谷牧野用地	鳥取市国府町雨滝	1,000,000.00	有	S49.4.1~	月額・年額 2,083,300	2,083,300	個人3名	
	原野	河合谷牧野用地	岩美郡岩美町鳥越字大谷	144,090.00	有	S62.10.1~	月額・年額 95,661	95,661	個人2名	
	原野	死亡牛一時保管施設に係る水道施設用地	東伯郡琴浦町松谷	給水管HLPV φ20・11.98 m他	有	H20.11.20 ~ H35.11.19	月額・年額	無償	東伯郡琴浦町徳万591-2 琴浦町長	
合計								3,103,443		

15 職員駐車場の管理状況調べ

該当なし

16 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

品名	規格、銘柄等	数量	見積金額	寄付申込年月日	寄付申込者	受納年月日	受納手続の有無	備考
			円					
合計								

17 備品の処分状況調べ 該当なし

品名 (規格、銘柄等)	(保管換年月日) 取得年月日	不用決定 年月日	処分				備考	
			売払 却の別	売払方 法	処分 年月日	売払額		
						円	円	
合計								

18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況

有  無

(2) 物品確認の実施状況

有 ・ 無

19 貸付金等状況調べ 該当なし

○ 意見、要望等  
 (1)業務に関する要望等

特になし

普通財産

(2)監査委員事務局に対する意見・要望等

特になし

年度	職員数	職員数	職員数	職員数	職員数	職員数	職員数	職員数

年度	職員数				職員数	職員数	職員数
	職員数	職員数	職員数	職員数			